

科目名	専攻科ゼミナール Advanced Seminars	科目コード	A2030
-----	-------------------------------	-------	-------

学科名・学年	物質工学専攻・1年（プログラム3年）
担当教員	物質工学専攻 全教員
区分・単位数	必修・2単位
開講時期・時間数	後期, 30時間【内訳：講義0, 演習30, 実験0, その他0】
教科書	担当教員指定
補助教材	担当教員指定
参考書	担当教員指定

### 【A. 科目の概要と関連性】

現在、化学・生物化学関連の論文は、ほとんどが英文で出版されている。そのため英語論文の速読はきわめて重要となる。物質工学特別研究の指導教員の下で、研究テーマに関連した論文等を読むことによって、英語論文の速読力を身に付けるとともに研究テーマの基礎知識、背景や最新の情報を得ることを目指す。

○関連する科目： 物質工学特別研究Ⅱ（専攻科2年次履修）

### 【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(G)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①日本語や英語の文献を通して技術者・研究者倫理を理解する。	40%	(G1)
②情報検索技術を習得し、必要な情報を整理する能力を養う。	40%	(G2)
③日本語や英語の文献を通して得た情報を整理し、内容を説明し問題点を提案する。	20%	(G2)

### 【C. 履修上の注意】

基礎的な英語力は必須である。正しい情報を速く読むことは絶対に必要な技術で、ぜひ身に付けること。また、膨大な量の技術関連情報から、目的の情報を検索・選択する能力の習得は今後さらに重要となる。

### 【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（0%）
- その他の試験（0%）
- レポート（100%）
- その他（0%）

## 【E. 授業計画・内容】

各研究室で、少人数ゼミ（英語論文の検索、速読、プレゼンテーションの手法の習得）を行う。